

事業番号	15 02 02	事業改善シート（令和5年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	夜間中学設置検討事業	部局	教育委員会	課・室	義務教育課		
		実施期間	R5 ~	E-mail	gimukyo @ pref.nagano.lg.jp		

1 現状と課題

・H28.12に教育機会確保法が成立し、地方公共団体は、夜間中学を設置し、学齢期を経過した者に対して就学機会の提供等の措置を講ずることが義務付けられた。
 ・現在、県内に夜間中学が設置されていないことから、有識者を交えながら、市町村とともに、夜間中学の設置について検討する必要がある。

2 事業目的

・戦後の混乱期に学校に通えなかった者等に、その希望に応じて学び直しができる場を提供するため、夜間中学（中学校夜間学級）の設置について検討する。

3 事業目的を達成するための取組

- ①夜間中学設置の検討を行うための会議の開催
- ・夜間中学を含めた多様な学びの場の設置の検討を行うため、市町村や有識者を交えた会議（全体会議）を開催
 - ・夜間中学設置の検討を行うため、市町村や有識者を交えた会議（WG）を開催
- ②先進地の視察
- ・円滑に設置判断を行うため、先進地の視察を実施
- ③夜間中学ニーズ調査の実施
- ・今後の設置判断の検討材料とするため、夜間中学のニーズ調査を実施

4 成果指標

(推移の凡例 ↑:改善 ↓:悪化 →:変化なし —:数値なし)

No.	指標名	単位	R3年度		R4年度		R5年度		R5年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①~③	指標なし										

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 (★印が付いているものは主要目標)	単位	直近3か年の状況						目標		
				年	数値	年	数値	年	数値	年	数値	
5-2①	一人の子どもも取り残されない「多様性を包み込む」 学びの環境の創出											

6 事業コスト

(単位:千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R5年度	0	3,933	0	3,933	3,933	3,215	2.0
R4年度	0	0	0	0	0	0	0.0
R3年度	0	0	0	0	0	0	0.0

事業番号	15 02 02	事業改善シート（令和5年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	夜間中学設置検討事業		部局	教育委員会	課・室	義務教育課

7 主な取組実績と成果

①夜間中学設置の検討を行うための会議の開催

・夜間中学を含めた多様な学びの場の設置の検討を行うため、市町村や有識者を交えた夜間中学設置検討会議（全体会議）を3回開催し、当該会議における検討の結果を踏まえ、令和6年3月に「長野県夜間中学設置に係る基本的な考え方（報告書）」をとりまとめた。

②先進地の視察

・令和5年6月に香川県三豊市立高瀬中学校及び東京都荒川区立第九中学校、11月に静岡県立ふじのくに中学磐田本校の先進地視察を行い、長野県における夜間中学設置に係る基本的な考え方を整理した。

③夜間中学ニーズ調査の実施

・夜間中学の設置に向け、県内に在住する「さまざまな事情により中学校に通うことができなかった方」「日本の中学校にあたる教育を十分に受けていない外国籍または外国に由来のある方」「中学校を卒業したものの、何かしらの理由によりほとんど学校に通えなかった方」などの当事者や当事者を支援者する方々にアンケート調査を行った結果、当事者及び支援者における夜間中学に対するニーズや夜間中学のニーズが高い市町村（長野市、上田市、松本市を中心とした周辺市町村）を把握することができた。（有効回答数：当事者62、支援者86）

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①～③	指標なし	R4年度推移	R5年度推移	達成状況

9 今後の事業の方向性

(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題

・夜間中学ニーズ調査の結果から、当事者や支援者のニーズが高い地域に、夜間中学を設置していくことが望ましい。
 ・当事者が希望する通学時間は、1時間以内が最も多く、電車・バスなど公共交通機関での通学希望者が一定数いることから、交通の利便性を考慮しながら、設置場所を検討する必要がある。
 ・多様なニーズに応えるべく、夜間中学単独設置にこだわらず、学びの多様化学校との併設なども含め、新たな学びの場を創造していく必要がある。

(2) 事業改善の方策

・「長野県夜間中学設置に係る基本的な考え方」を踏まえ、夜間中学の入学対象者だけでなく、学齢期の不登校生の受け入れも可能とする多様なニーズを包括した学校についても検討し、夜間中学と学びの多様化学校との併設も含め、インクルーシブでフレキシブルな学びの場の創造に向けて、「信州オープンダスクール」創造会議を開催し、設置を検討している市町村と共に協議を進める。

事業番号	15 02 02	細事業一覧（令和5年度実施事業分）		□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検		
事業名	夜間中学設置検討事業		部局	教育委員会	課・室	義務教育課

細事業 No.	細事業名		R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
1	夜間中学設置検討事業		0 千円	0 千円	3,215 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	夜間中学設置検討会議開催事業	直接	夜間中学の設置に向け、そのあり方や方法等についての検討を行うため、市町村教育委員会や有識者を交えた検討会議を開催 [全体会議]年3回開催 [WG]年3回開催		
2	先進地視察事業	直接	夜間中学の設置について具体的に検討するため、先進地の視察を実施 3校視察（香川県、東京都、静岡県）		
3	夜間中学ニーズ調査事業	委託	設置検討に係るバックデータとするため、県内施設約1200箇所にQRコード・はがき付きのチラシ等を配布し、当事者や支援者を対象とした夜間中学のニーズ調査を実施 県内施設約1200か所へのチラシ等の配布・設置		